

久留米高校関東同窓会



令和5年10月14日（土）に、第28回久留米高校関東同窓会総会及び懇親会がアルカディア市ヶ谷で開催されました。4年ぶりの開催であり、若いも若きも「元気やったね」、「会いたかったバイ」などと会が始まる前から、あちらこちらで再会を喜ぶ声が飛び交い、ハイテンションの中で総会及び懇親会がスタートしました。

総会では、久留米高校の市場校長からの「昨年10月に創立115周年を迎えた母校の建て替えや大学進学などに関する近況報告」に、それぞれの参加者が在校時代を懐かしむとともに、事業・決算報告が滞りなく行われました。

また、懇親会は、松行会長の「4年ぶりの再会、今日はとことん久留米弁で昔話に花を咲かせましょう」の掛け声でスタートし、村井久留米高校同窓会会長、田中久留米東京事務所長をはじめ、久留米市内の各高校などからのご来賓の方々と同窓生が、出身高校という垣根を越えて、同郷の思い出話で盛り上がりました。

懇親会の催し物として、昭和56年卒の間正子さんが「心に灯りが灯る歌」と題して、「YOU RAISE ME UP」をご友人のピアノ演奏とともに独唱し、また、「思い出を振り返って」と題して、「各年代間で母校の一番の思い出など」を語り合い、更には、高校時代にあこがれの人と手を繋いだ思い出深いフォークダンス「オクラホマミキサー」を皆で踊り、最後はやっぱり校歌、メロディーが流れはじめると自然と歌詞が走馬灯のようによみがえり、大熱唱となりました。

4年ぶりの同窓会でしたが、初参加の人も、毎回参加している人も直ぐに打ち解け、喜びと笑顔に満ち溢れたとても楽しい会となりました。

散会後も、「楽しかったね。また来年会おうね。」という言葉がいつまでも響きわたり、それぞれの参加者が明日への活力を得ることができた「とても思い出深い1日」となりました。

（昭和52卒 江口 英孝）